

こんにちは。



筆者：ジョッシュ フラクスカさん

6月の約1ヶ月間、国際交流会館でインターンとして在籍。在籍中には、サンアントニオを紹介するサロンや学校訪問など積極的にこなす。テキサス州立大学4年生。

テキサス州サンアントニオ市在住。

成田空港に到着した時から今まで私の思うことを英語から日本語に切り替えました。今英語と日本語を正しく話せません。日本語を勉強することにおいてこれは上達かもしれません。感情や考えを表現できなかった時、私はもっともっと勉強します。私の日本にきた感想は「東京は小さいな」と思いました。地図を調べてそして成田空港が千葉県のなかにあることに気が付きました。バスで成田空港から羽田空港まで行きました。羽田空港へ行きながら東京のいなかを見ました。羽田空港から熊本空港に行きました。そして文化と言葉を習う旅を始めました。

熊本での一ヶ月の滞在期間中、私の仕事は国際交流会館で、様々な年代の熊本市民の方々に私の故郷、サンアントニオ市について話すことです。今現在熊本へ着てから3週間目になり、様々なことを学びましたが、まだまだ分からない事が沢山あります。

まず、私の最初の大仕事として、訪問した学校で生徒にサンアントニオ市についてのプレゼンテーションを英語で行いました。実は、この準備を進めて行くなかで、今まで私自身も知らなかったサンアントニオ市の歴史などについて学ぶことができました。しかし残念なことに、こういった数日間の準備の甲斐もなく、最初の10分間でクラスの4分の1の生徒が居眠りを始めました。最後の方は半分もの生徒が眠っていたようです。

しかし、この理由はプレゼンテーションの内容ではな

く、生徒達が英語での説明を十分に理解する事が出来なかったからではないか、と思っていました。

これとは反対に、小学校でプレゼンテーションを日本語で行った時は、私の日本語の知識不足で、どうやら小学生よりも自分自身を混乱させてしまったようです。この経験により居眠りをしていた学生の気持ちがとてもよく分かり、日本語の勉強をもっとしようと思いました。もし私が聞き手だったとしたら、私自身も居眠りをしていたかもしれません。

来月から、京都外国語大学での日本語の勉強をはじめます。勉強したことをすぐ使えるように一生懸命勉強したいと思っています。その他に、皆さんから是非とも訪れるようにと進められている、京都のお寺などへの観光も待ちきれません。

日本での最後の月は、東京、大阪、宮崎、とサンアントニオ市で出会った日本の友達の所に滞在しながら旅をするつもりです。東京の高層ビル、大阪のおいしい食べ物、宮崎の海を見られることをとても楽しみにしています。その後はまた熊本へ戻り、そこから素晴らしい日本での経験とともにアメリカ帰国、となるわけですが、今は



まだ、最初の一ヶ月目も終わっていない状況なので、とても帰る日のことまでは考えられませんし、考えたくもありません！

ちょっと言わせてはいよ



ちよつとフランス語 French Tip

国際交流員 セヴァスティアン・ドース
CIR Sébastien DAUSSE

Amour bisexuel

フランス語の名詞は単数形・複数形を問わず男性だったら男性で、女性だったら女性です。というルールがあるのですけれども実は例外があります。その一つはamour（愛）という言葉です。

もともとamourはラテン語のamorから来ます。-orで終わるラテン語の言葉は男性です。イタリア語とスペイン語でそういう言葉から来る名詞はこのままで男性の性を守りました。

例：ラテン語

dolor (痛み)

humor (体の調子)

イタリア語

(il) dolore

(l') umore (機嫌)

スペイン語

(el) dolor

(el) humor (機嫌)

フランス語の場合にはそういう-orで終わる言葉から来る名詞が世代に渡って-eurで終わる言葉に変化しました。しかしながらもとの性を守ったということではなくて、逆になぜか皆女性名詞になりました。たとえば：(la) douleur, (l') humeur。普通だったらラテン語のamorはフランス語のameurになるはずでしたが、langue d'Ocという昔の南仏方言の影響でamourになりました。その最後の-ourが性を決めて、amourが男性名詞になりました。とはいえamourは長い間男性か女性かどちらでもいいですという中途半端な立場にあって、結局のところ次のように用いられることになりました。

単数形の場合は男性で、複数形の場合は女性です。

愛はバイ。